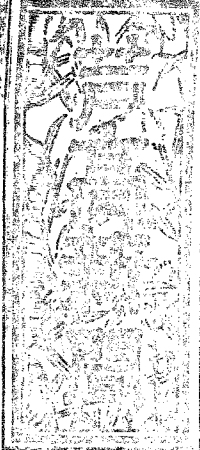


源の生命の海



発行所
興立芦屋高等学校
出版部
兵庫県芦屋市宮川3-6-3



神秘的なウニの発生

□…毎年恒例の生物研究部主催、臨海実…□
□…習が七月二十九日より八月一日まで…□
□…神戸大学理学部付属臨海実験所にお…□
□…いて実施され、ウニの発生観察に成…□
□…功をおさめた。

七月二十九日、日曜日、七オオとハバノリを乳ほちです時三十分、園鉄芦屋駅南口よりフジの上、抽出液(アセ集合した一行は、卵石を經由トンとメタールを混せた物)して、必路島岩屋にある実験で色素をとり、試験管で色素所に向った。同日は、天候に分離した。午後四時より、海も息まれ、海を「瀬戸内海特産にて磯の生物採集。男子は有のはき」で、実験もスムーズ海にもぐり、ムラサキウニに遊んだ。昼食後、一回目バフンウニ・ヒトデはを採の講義では、沿岸生物、外洋集し、女子は、岩場で貝、海生物、海産生物の生息について、フツツ木を採集した。実験所は、砂浜で多産場所では、いくつかの班に分多様の海藻を採集し、それをかれ、夕食準備、フロタチ、実験所に持ち帰り、浸透圧、実験を別々に行った。実験は、ペーパークロマトグラフィー、層に採集した海藻の色素標本の実験を行い、又、浸透圧で作成であった。夕食後、ムラは、アナオオヤを海水、水でサキウニの解剖、受精を行い、うすめた海水、やや蒸発させた解剖では、アリスートルの濃度を濃くした海水に浸し、ランタンを取り出し、塩化力各々についての細胞の状態をリウムを注ぎ、卵、精子を採取スグッチした。ペーパークロマトグラフィー出し受精させ、びんに入れマトグラフィーでは、アナオアで発生させた。

七月三十日午前七時起床、朝食の後、二回目の講義。これは、フランクtonネットの使用法について説明があった。海に出るから、各自が交代でフランクtonネットを使い、フランクtonネットを採集し、実験所では、フランクtonネットの顕微鏡観察、スリ、子を行った。昼食後、三回目の講義。ここでは水生昆虫、海産植物の説明があった。午後二時頃より、二年生はウニの採集、一年生は茶蘭川の上流に行き、アメンライモリなどを採集した。

二十七時間半の観察

翌三十一日は、朝食後、四時ウニ・バフンウニなどを各自の採集方法、ウニの発生進行に名参加した。中には勇敢にもウニを採集し、観察して二産目カニ、ムラサキウニ、ヒトデも採集した。オオヤとメスガミボタルの発生実験があった。三つの実験の前には先生の説明があった。非常にユニークな理由を納得出来たようであった。この理由とは、ウニボタルの学名反応による、酵素型ルツフェリンと水による、その上に光エ

夕食後、辺り一面暗くな。フランクtonネットを出し、フランクtonネットは、海流に流され操作にはかなり手こずった。もう一度ボートを出し採集しようとしたが、海が荒くなり、ボートに水が入り断念した。夜光虫の発生実験は、教員実験であつたが、その神秘的な光に一回、その晩のコンパでは、四年後の人生についての討論会が行われた。一名が自分の四年後にについて発言していたが、医者になりたかった者が多かった。将来何を食べて行くかという質問に、ハッる食へて行くという意見には一同、爆笑。



「王道」か見つつか。たの真表本誌 先生、動物園とやらに誘われておくりし「王道に王道なし」とはよく言われることわざであるが、今、まさにこの「王道」が見つつか。たの真表本誌からにして数学の公式や単語帳、チリ買えられる。「試験の前日にこの機械を使うと、試験はドッキリ、クラスでトッスにはな。た」と、我々には夢の様な体験も同感されている。祝状の機械を要するに、さきかきながら天才には多わけだ。おかし。本当におかし。こんな21世紀先取りの様な機械をどうしてテレビや新聞は報じないのだろうか。「土曜スペツル」ついに出版のマン、いとか「学生の試験勉強に光とル賞ものです。あんまりこんな機械は出回ると、先生は総裁、聖は閣内休業、教育委員は総制れにはらうから、まさに教育界のインベーター。本当ならもつと騒がれても良いのに……」

なら、今すぐ計算モノノートも教科書も投げ捨てて、この枕を借りて寝て下さい。あなたさえ寝ければ……

